

第64回

小牧市民美術展

| 日本画 | 洋画 |

| 彫塑・工芸 |

| 書道 | 写真 |

The 64th
KOMAKI
CITIZEN
ART
EXHIBITION



2023.10.21(土) - 11.3(金・祝)

10:00 ~ 19:00 (11月3日のみ16:00まで) 入場無料

会場 小牧市まなび創造館アリーナ (ラピオ5階)

小牧市小牧三丁目 555 番地

表彰式 11.3 (金・祝) 14:30 ~ (受付 14:00 ~)

会場 小牧市まなび創造館あさひホール (ラピオ5階)

ギャラリー
トーク

10.28(土) 洋画 10:30 ~ | 日本画 14:00 ~

10.29(日) 彫塑・工芸 10:30 ~ | 書道 15:00 ~ | 写真 16:30 ~



SDGs
こまぎ



一般財団法人
こまぎ市民文化財団

共催：小牧市・小牧市教育委員会・(一財)こまぎ市民文化財団

企画・運営：小牧市民美術展常任委員会

問合せ：(一財)こまぎ市民文化財団 TEL: 0568-71-9700 ※月曜休館

彫塑・工芸の部

市長賞	爛漫	瑠璃華		
市議会議員賞	海鮮丼	早川 美香		
市教育委員会賞	one day	石井 香奈		
こまき市民文化財団賞	親子でダンス(シャバーニ)		石川すみ子	
美術展賞	Variant animal	安井 正志		
奨励賞	ケーキとドーナツ	谷 富貴子		
	屋根神様のある家	池村 康生		
特選	$E=mc^2 \Rightarrow cp^2$	丹羽 善平	スポーツの祭典	伊東 知子
上記以外の出品者 (順不同)	井上 利香	尾崎 郁子	片山 直樹	加納 桃花
	川口 一子	丹慶つる美	土屋 富夫	所 寛
	樋口 久	廣瀬 愛子	藤原 秀子	堀田 厚友
	堀田真由美	村上 メメ	山口 泰三	
無鑑査	心(モヤモヤ)そしていつか…		加藤 菊美	
	昇龍		長瀬 徹	
依囑	茶綿地 藍染巻上絞	石黒由紀子		
	コスモ「五輪挿し」	佐藤 陶猿	祈りの行方	高野 眞吾
	白マット釉象嵌壺	沼田満喜子	四季の森(秋)	野村 紀子
賛助	モニュメント	平松 伸之	苞	古田 好孝

審査対象…26点
特別賞……4点
美術展賞…1点
奨励賞……2点
特選………2点

総評 彫塑・工芸部門 <審査員> 平松 伸之 (愛知工業大学非常勤講師・プラスギャラリープロジェクト代表)
古田 好孝 (中部染色作家協会会員、「蓼の会」主宰)

第64回になる今年、ようやくコロナ禍から抜け出そうとする時勢に合わせるように昨年を大きく上回る出品数となり、バラエティに富んだ内容となっています。

市長賞の「爛漫」は正確で丁寧な作業の積み重ねで出来上がった精緻な作品で、幾何学的な構成の中に自然の持つ美しさがこめられた工芸作品です。

市議会議員賞の「海鮮丼」は意外なテーマを意外な方法で表現した立体作品で、カラフルなはずの海鮮丼が色彩を失っている姿が、観るもののイメージを強く刺激してくれます。

市教育委員会賞の「one day」は可愛らしい一匹の犬の姿が複数の彫像として表現されていて、観察力と表現力の見事に引き込まれる作品です。

こまき市民文化財団賞の「親子でダンス(シャバーニ)」は立体的な造形力の確かさと、英字新聞を衣装に使うようなデザイン力がうまく組み合わさった作品です。

今回、種類の多さに審査も大変でしたが、皆さんの熱意がこもった作品と向き合うことができ、刺激を受けました。次回も驚くような作品に出会えることを期待しています。

日本画の部

市長賞

虎溪山永保寺 江口 豊明

市議会議長賞

貯水池寸景 松本 昭

市教育委員会賞

コスモス 江端 ヨシ

こまき市民文化財団賞

絆 奇跡の一本松 水野 康彦

美術展賞

初夏 土屋 富夫

奨励賞

なかよし 横井 洋子

特選

祈り 丹羽 光子

祈り～Prega～ 宮田 美幸

上記以外の出品者
(順不同)

荻田 康典 栗木 純子 成瀬 信吉 村瀬 邦彦

無鑑査

野焼き 梅村 和子 牡丹 金山 昇

永遠に 知屋城留里子 晩秋 寺口マツ子

菖蒲の園 森 章

依頼

その日のにんじん 七田由紀子 花籠 平野 淑枝

牡丹 前田 幸恵

あっくんの旅 村田八千代

賛助

Don't Look Back in Anger 植田 浩

審査対象…17点
特別賞……4点
美術展賞…1点
奨励賞……1点
特選………2点

総評 日本画部門 <審査員> 植田 浩 (名古屋造形大学非常勤講師、日本美術院院友、現代童画会会員)

日本画の持つ美しさを引き出す為の仕事がしっかりとした作品が多く、表現方法の工夫や作者それぞれの表現したい世界が鑑賞者に訴えかけるパワーを感じました。

市長賞「虎溪山永保寺」暖かい色で表現されたお寺が緻密に描かれています。その周囲に存在する木々・水面や空など青色系の表現幅や色幅の工夫がより画面中心に目を引き付けています。

市議会議長賞「貯水池寸景」しっかりと塗り重ねられた水の表現に「はっ。」とします。現場の水温・気温まで感じさせる力作です。

市教育委員会賞「コスモス」しっかり一輪を見せたり柔らかく色を重ねたりと、緻密さとおおらかさが共存してコスモス畑の広がりを感じます。

こまき市民文化財団賞「絆 奇跡の一本松」画面中心で一本松と虹がクロスするインパクトで人を引き付け、近くで見た味わいのある表現で鑑賞者を魅了する絵としての深みを感じます。

洋画の部

市長賞

残魚 河村 正子

市議会議長賞

羊、草を食む 中嶋 桂子

市教育委員会賞

我が故郷「水没ペンション村」 森藤 勝利

こまき市民文化財団賞

深山の森 坂井 邦広

美術展賞

老木の夢 中橋恵美子

ユングフラウへの道 池村 康生

奨励賞

静かな秋 久米 紀子

追想 水野 和子

屁糞葛 市橋 一路

砂滑と鬼灯 羽 夢

特選

DASHI 早川 美香

るり溪の自然アート 鈴木 文子

ひまわり 杉谷まさ子

『さあ帰ろう』 青島ミサヲ

ボールペン画 ^{おやこ} 母子で歩く「赤沢自然休養林」長野・上松町 松浦 健治

上記以外の出品者
(順不同)

浅野 勝一

天野 瑛栖

稲垣 裕介

岩永 尚之

鵜飼 治義

江口 豊明

大島 仁

大無田幸子

奥村 利子

小瀧 征男

金子 勝秋

北島五十鈴

城所 秀幸

久保田奈穂

小林 勝美

佐藤 啓子

田屋 澄江

中村 俊弘

長谷 冬燕

林 郁代

平野 定男

堀田 厚友

松浦ありさ

松浦 幸子

松岡 文代

松田 純子

宮里 弘幸

森島美佐子

山岡 陽子

吉田 光希

吉田 英雄

吉田ひとみ

吉野 正枝

渡辺ゆき子

無鑑査

向日葵 梶田 敏文

依頼

空を映す 雲場池にて 渡辺 朋子

白いブラウス 朝日 洋子

石垣の民家(波切漁港) 井高 信子

夢華 伊藤 隆

風景 大島 勘一

夏の終わり 神戸美栄子

「仁科三湖」の内 中綱湖の水鏡

栞原 賢

ぶどうの詩 坂本 冴子

楠川歩道 中川寿美子

ノイシュヴァンシュタイン城

西尾 春秀

安曇野の初秋 蜂須賀晋司

日和田高原 服部 則子

刻刻 福田 瑞江

賛助

ナカニワ(02) 佐藤 克久

審査対象…51点
特別賞……4点
美術展賞…2点
奨励賞……4点
特選………5点

総評 洋画部門 <審査員> 佐藤 克久 (名古屋造形大学 准教授)

今年度は昨年と同じぐらいの出品数で、コロナ禍を経て各々が気持ちを新たに文化的な営みに真摯に向かわれているのが感じられた。どの作品もテーマがしっかり伝わってきてレベルの高い作品が多く、賞を選出するのがとても大変であった。

市長賞「残魚」色数を抑えたドローイング的な描写で時代を反映したような画面に仕上げこちらに迫ってくる。争いごとを風刺しているようでもあり、多様な考えが共存していく在り方を探っていくようにも感じられた。

市議会議長賞「羊、草を食む」程よい描写が魅力で絵画が持つ宿命ともいえる遠近法に真摯に挑んでおり無限の奥行きを画面に取り込んでいて心地よい。

市教育委員会賞「わが故郷「水没ペンション村」」災害という避けられない深刻なテーマだが、色彩を上手くちりばめて描写し、水鳥の生活も対比させ素朴な美しさを感じる画面になっている。

こまき市民文化財団賞「深山の森」淡い色彩の中に光を感じさせる絶妙で静かな空間を作者のリアリティを持って描き上げている。

不安定な時代には後回しにされがちな「芸術活動」を絶やさずにして、若い人たちにもどんどん市民美術展に参加してほしいと願っている。

書道の部

賞名	作品名	氏名	氏名	氏名	氏名
市長賞	臨 傳山	伊藤 松園			
市議会議長賞	王維詩二首	山田 紅蘭			
市教育委員会賞	シンデレラの詞	佐藤 拓翔			
こまき市民文化財団賞	呉蘭雪詩	越野 華雪			
美術展賞	良寛歌	林 恭子	克己復礼	西 湖舟	
奨励賞	がんばらない	小島 一志	杜甫詩	熊澤 松湖	
	菩薩蔵経後序	丸藤 素翠	文徵明 臨 落花詩卷	長谷川千夏	
特選	関戸本古今集	吉田 容子	広瀬淡窓の詩	村瀬いづみ	
	残響散歌	佐藤 健斗	李賀詩	森 瑞稀	
	杜甫詩	増田 龍聖			
上記以外の出品者 (順不同)	市村 亮介	伊藤 芳苑	稲山 鹿山	井上 貴文	
	井上 稚菜	江口 秀華	大上 夢未	大島 瑞扇	
	大島 瑞香	大島百合子	大友 千尋	大野 琴舟	
	落合 唯奈	片岡 裕子	兼松 香祈	川口 清琴	
	川手 静波	小松 永愛	小森 由葉	近藤 雲洋	
	佐々木慶太	鈴木 玉晶	外園エベリン	高井 咲良	
	田中 千尋	藤 京華	永田 乾石	新井本佳和	
	服部 敏彦	林 宏子	藤田真奈美	藤田 美穂	
	堀田 晃代	増田 清琴	宮地 響子	山田 恵風	
	山田 乃愛	龍 楓雅			

審査対象…57点
特別賞……4点
美術展賞…2点
奨励賞……4点
特選………5点

無鑑査

AURORA 佐藤 悠佑

Doodle 田中 美香

客中行 唐・李白 中澤 抱翠

盧綸詩 水野 琴秀

依囑

風 安藤 紀苑

徐貴漢詩 井上 紫水

向笠和子の句 江口 幽岳

伊藤佐千夫の歌 神戸 笙詩

宗祇の句 北野 春艸

陶淵明詩 四井 静華

易経 志村 松琴

近業一種 鈴木 立齋

和安而好敬 原田 玉樹

みだれ髪より 夫馬 春園

和一 堀田 清苑

李白詩 秋浦歌 松浦 華苑

堀口大学詩 夢のあと 宮崎 弘園

寿与亀鶴永 吉田 佳風

賛助

万葉歌二首 後藤 汀鶯

総評 書道部門 <審査員> 後藤 汀鶯 (日展会友、(公社)中部日本書道会常任顧問)

審査会場に入るやいなや、大作の数々の書が目飛び込んで来ました。コロナ禍も少し落ち着き書への意欲が戻って来たように感じました。うれしい限りです。作品はジャンル・作風も多彩で、きっと来場者を魅了することと思います。

市長賞 伊藤 松園 様「臨傳山」自由奔放で小気味よい練綿は生き生きとしています。古典を血肉に新たな世界を開いてください。

市議会議長賞 山田 紅蘭 様「王維詩二首」緩急と抑揚の変化があり、行の響き合いも絶妙です。蘇東坡の風韻が漂っています。

市教育委員会賞 佐藤 拓翔 様「シンデレラの詞」豊潤な墨量、剛直で迫りに満ちた書は、無限の魅力を感じます。更なる精進を願っています。

こまき市民文化財団賞 越野 華雪 様「呉蘭雪詩」鋭く切り込むような始筆と転折。構築性の強い文字の中にも穏やかさが加わった作品です。

写真の部

市長賞

庄巻壮観 小原 清子

市議会議長賞

双頭龍出現 増田 勇夫

市教育委員会賞

手筒の夏祭 江口 光広

こまき市民文化財団賞

未知への扉 中村 春喜

美術展賞

神事疾走 井戸田洋二

空中浮遊 道家 敏正

夜蝶舞姫 三浦 雄一

訴え 岸本 慧太

審査対象…97点
特別賞……4点
美術展賞…4点
奨励賞……7点
特選………9点

奨励賞

都会の空間	辻 庸公	反映	平瀬 碧咲
フィナーレ	伊藤菊久江	まわる	伊藤 瑠香
帰るネ バイバイ	田岡 繁一	花火降る	近藤 優子
淡雪	長尾 康博		

特選

青春の雄たけび	赤石 光男	春らんまん	宮下 文彦
森の中のオブジェ	岡田 幸子	祭り人	乾 颯真
Nippon 2023「過ぎ去りし日々」	木村 文理	少女	松浦 悟示
鏡面鏡絵図	吉本 輝義	巨木に挑戦	野村 進
豪雨を切り裂いて	加藤 聡史		

上記以外の出品者
(順不同)

秋山 豊	池田 有輝	石田 輝夫	伊藤 菊造
井上 幸治	今村 輝夫	岩井 勲	岩井 仩一郎
太田 光彦	大野 淑子	小川 孝	小倉 茂美
勝川 正治	勝山 恒男	川原 昭八	神戸 直之
木全眞里子	木全 涼太	小井手勝代	小島 正美
小島 幸雄	小林 久雄	後藤 生蔭	後藤 庄樹
後藤 辰美	五味 正光	酒向 紗己	佐藤喜志男
鈴木 詞子	高橋 夢永	高柳 一子	田中 義雄
谷口 進	田谷 敏男	土屋 庄平	坪井 奏太
鶴見 義秀	永田 良春	中鳥 政人	永松伊勢雄
中山 空	中山 俊夫	野村 政明	橋本 俊政
長谷川知義	早川 縁	比江嶋由美子	平井 鉄夫
舟橋 恵子	穂積 章三	堀尾 僚香	堀 延雄
水野誠二郎	水野 義男	南 孝夫	宮川 良明
安田 一琉	谷津倉大志	山田 勇	山本 多笑
山本 隆平			

無鑑査

華麗な舞	安藤 恒子	奥山の架け橋	井戸田千恵子
和(ヒガンバナ)	川口 光好	幻の花	酒井香江子
夕暮れの散歩道	栄 満	ビューテラス	丹羽 次夫
故郷上空	船橋 紀雅	寒暁の雪庇	三浦 智
泥んこの青春	森 美智子	浜辺へお散歩	谷内 和明
午後のひととき(シジュウカラ)		吉本 章治	

依頼

挑戦	伊藤 文彦	力走	加藤 昭夫
ひまわり畑	穂積 孝朗	さくら競演	山岡 廣海

賛助

グリーン・ワールド	富永 聡
-----------	------

総評 写真部門 <審査員> 富永 聡 (日本写真協会会員、日本写真家協会会員、キャノンEOS学園名古屋校講師)

今回もレベルの高い作品が集まったと思います。

市長賞「圧巻壮観」山車の乗り手、山車の引き手、紙吹雪が乱舞するなか、上からの位置取りで俯瞰して撮影したのが良かったと思います。

市議会議長賞「双頭龍出現」お寺の中の天井の写真を超広角レンズで撮影されたような画角です。龍の存在感がより増した迫力ある作品だと思います。

市教育委員会賞「手筒の夏祭」手筒花火の炎の状態、下からの発砲の瞬間を見事に捉えています。かなり白トビしやすい被写体ですが、極力抑えての撮影が良かったと思います。

こまき市民文化財団賞「未知への扉」異次元のようなトンネルの雰囲気。

漆黒の中、黄金色の光と人を上手く配置したコントラストの妙が良かったと思います。

全体の講評として、プリントと額が綺麗にはまっていなかったり、作品が適正な明るさでなかった物も見受けられました。上位入賞には、プリントの質にもこだわらしましょう。今回、高校生の方の出品も増えて若い風を感じました。今後も頑張っって作品づくりをしていって欲しいと思います。

最後に、ここでの審査員は今回で最後になります。4年間審査員をさせていただき感謝申し上げます。小牧市民美術展の益々の発展を祈念して結びの言葉にさせていただきたいと思います。

特別出品

大きな木の下で…。

特別賞副賞(トロフィー)制作者

浅井 啓介 (小牧市在住 漆芸家/現代工芸美術家協会評議員)

An Open Living Room

本年度・チラシポスターデザイン

甲斐 英子 (小牧市在住 イラストレーター)

- 開催趣旨：市民の創作的な活動を発表する場として、また市民が文化にふれるきっかけとする場として、技術や感性の交流をはかるとともに、さまざまな美術作品の鑑賞もできる機会を創出することで、「つくるひと」と「みるひと」のどちらも、どなたでも楽しめる展覧会を目指しています。
- 賛助作品：本美術展の審査員の作品です。
- 無 鑑 査：過去に最高賞を1回、もしくは特別賞を2回受賞した方、またはそれと同等以上の実力を有する方を対象としており、何らかの賞を優に獲得する可能性を持っていると判断し、特別賞のみを審査対象としています。より様々な方が賞を獲得し、更なる高みへ進むための励みとしていただきたいという願いと、これからの実力を磨いていく方々を見守る寛大な心を育んでいただきたいという願いからこの制度を設けています。
- 依嘱作品：過去に市民美術展最高賞を2度以上受賞、もしくはそれと同等以上の実力を有する方に、ご高作の出品を依頼しています。市民美術展を経て今もご活躍されている方々の作品を知っていただき、小牧市の美術文化への関心をより一層深めていただくために、この制度を設けています。

5F
アリーナ会場

